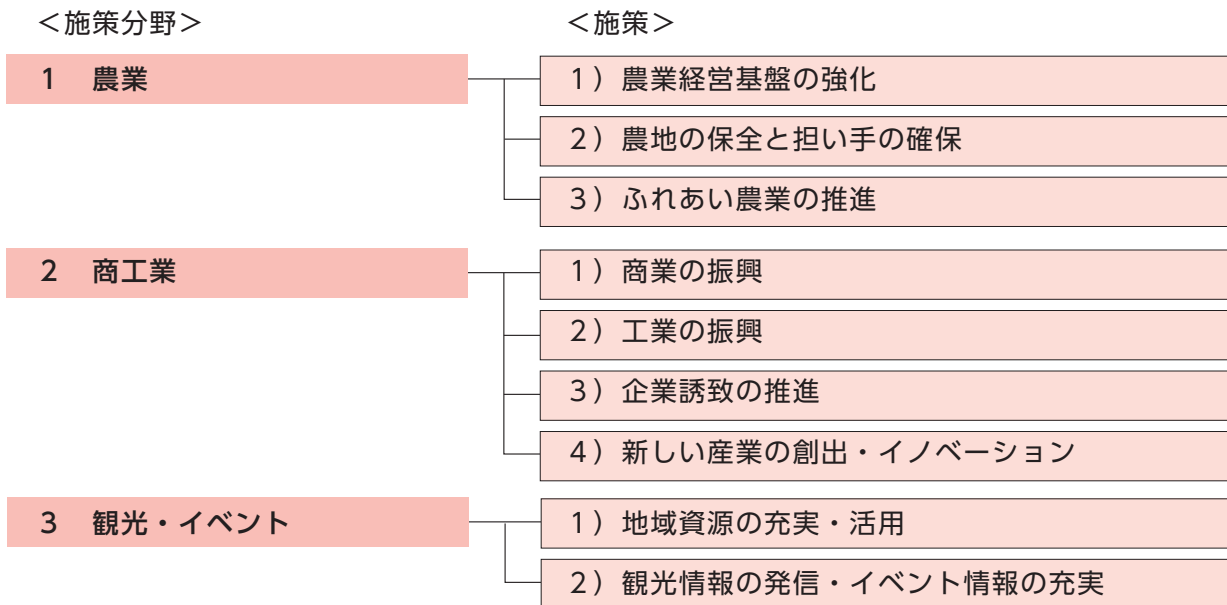


基本目標4

つながりと活力に あふれるまち



基本目標4

つながりと活力にあふれるまち

〈施策分野1〉 農業

現況と課題

瑞穂町は、農業者の高齢化や担い手不足などによる耕作放棄地や遊休農地が増える一方、意欲ある新規就農者を積極的に受け入れてきました。農業の持続的な発展のためには、農業者が持つ栽培方法などの技術の次世代への継承や、安定した農畜産物の生産に向けたさまざまな生産基盤の整備や維持、多様な流通網の整備と販路の拡大が不可欠です。

また、地域の農業を担う農業者に対し、農業経営基盤強化促進法にもとづく、利用権設定や農地中間管理事業による貸借等をすすめ、生産基盤の拡充と遊休農地等の解消につとめる必要があります。

水・緑と観光を繋ぐ回廊計画(「みずほ☆きらめき回廊」)の拠点整備のひとつとして位置付けられていた狭山池上流部については、さらなるソフト事業の拡充をはかりながら、農業振興のための拠点としての整備を検討し、推進する必要があります。

10年後のめざす姿

瑞穂町の農業が主要な産業のひとつとなり、農業の特産品がブランド力をもっています。また、農地が良好な田園風景を形成しています。

■ 施策数値指標

指標名	現状値	令和7年度目標値	令和12年度目標値
農地中間管理事業等にもとづく農地の貸借等を行った面積	235,655m ² (令和元年度末日時点)	285,655m ²	335,655m ²
新規就農者受入件数(累計)	16人 (令和元年度末日時点)	19人	21人

施策

1 農業経営基盤の強化

**創生**

農業者の経営基盤の強化に向けた支援を推進します。また、町内で生産された農畜産物については、加工や新商品の開発、付加価値を高めるような取り組み、販路開拓・拡大、みずほブランドを含む農畜産物のPRなどの取組を推進します。

【主要な取組】

- 認定農業者や認定新規就農者など意欲のある農業者の支援
- 商工業や観光などとの連携による、農畜産物のブランド化、6次産業化の推進

2 農地の保全と担い手の確保

地域の農業を担う農業者に対し、農地中間管理事業等を利用した農地の貸借をすすめるほか、新規就農者の定着に向けた支援の充実をはかります。また、遊休農地の解消をはかり、優良農地の保全につとめます。

【主要な取組】

- 新規就農者への支援
- 農地中間管理事業の活用

3 ふれあい農業の推進

**重点**

農地については、農地の貸借のほか、農業者自らが運営する体験農園や観光農園を支援するなど、農地の多面性を活かした施策を推進するとともに、地産地消の推進に取り組んでいきます。

また、狭山池上流部の農地については、地権者や関係機関と調整をはかり、農業体験ができる場の創出や農業振興のための拠点整備をすすめます。

【主要な取組】

- 体験農園や観光農園の推進
- 農業振興のための拠点整備の推進

瑞穂町の主な関連計画

- 農業振興計画
- 産業振興ビジョン
- 都市計画マスタープラン

「重視すべき視点」からの配慮事項

1) 町の魅力を際立たせる

地域ブランドとなる農畜産物が、町内外に浸透するようつとめます。

2) 資源を磨き生活の質を豊かにする

優良農地を保全することで、町の資源である農地の原風景を残していきます。

3) つながる地域づくり

町民農園や体験農園をきっかけとした地域の交流の場づくりをめざします。

4) 危機に備える

一時避難場所など、多面的機能を有する農地の保全につとめます。

基本目標4

つながりと活力にあふれるまち

〈施策分野2〉 商工業

現況と課題

瑞穂町の中小商業事業者を取り巻く環境は、大型商業施設、コンビニエンスストアの進出やインターネットを利用した通信販売などにより、非常に厳しい状況であり、これらとの共存が課題となります。また、多くの事業主にとって後継者育成、事業承継も課題となっています。瑞穂町商工会と協働で、地域に密着した商店の活性化に向けた取組を行うとともに、農畜産物や観光資源と組み合わせ、新たな価値を生み出すことで商業の振興と地域経済の活性化をはかることが重要です。

瑞穂町における工業は、従業員100人未満の事業所が9割以上と小規模な事業所が多い状況です。1事業所あたりの製造品出荷額等や従業員1人あたりの製造品出荷額等は多摩地域や東京都の平均と比較し高い水準となっていますが、後継者育成、事業承継が課題となっています。そのため、町内の事業所の大半を占める中小事業者の蓄積された技術の承継が課題となっています。

東京都は、多摩地域にある大学、研究機関、専門人材、大手ハイテク企業、高い技術力を有する中小企業などの集積と、国内外の先端産業やスタートアップ創業者との活発な融合により、世界有数のイノベーション先進エリアとして、多摩イノベーションパーク(仮称)構想をすすめています。また、国においては、令和2年7月に経済財政運営と改革の基本方針2020が閣議決定され、新型コロナウイルス感染症の影響で新たな日常が必要となり、企業・事業者などにおいてもデジタル化の遅れが課題となっているといわれています。

瑞穂町の経済をささえる多様な業態の中小企業は、製造業をはじめ高い技術力を有しています。今後、先端技術を活用し、業種・分野の枠を超えたこれまでにないイノベーションを創出していくことが必要です。

10年後のめざす姿

地域の商店と大型商業施設等が共存し、活気にあふれています。町内の工業事業者が活気にあふれ、技術力の高い工業集積地が形成されています。

■ 施策数値指標

指標名	現状値	令和7年度目標値	令和12年度目標値
企業誘致奨励制度による企業立地数	3社 (令和元年度)	6社	9社

施策

1 商業の振興

地域に密着した商店の活性化のために、地域の商店などが実施するさまざまな取組と後継者育成などを支援します。また、みずほブランド事業のさらなる充実をはかります。

【主要な取組】

- 商店などが実施するイベントに対する支援
- みずほブランドの推進とPR
- 商店などに対するICTの取組への支援

2 工業の振興

**創生**

経営基盤が不安定な中小企業に対し、融資制度の促進や商工会や専門家などと連携し、企業経営の安定に向けた支援と今後のデジタル化推進に向けた支援につとめます。また、企業訪問で得た課題に対し支援策を検討します。さらに、青梅線沿線地域産業クラスター協議会などと連携し、企業支援につとめます。

【主要な取組】

- 商工会と連携した中小企業の支援
- 企業訪問の実施

3 企業誘致の推進

**創生**

雇用の確保、経済波及効果およびイノベーション創出のため、優良企業の立地を促進します。

【主要な取組】

- 町外の企業に対する、瑞穂町のPR
- 立地希望事業者に対する情報提供

4 新しい産業の創出・イノベーション

**創生**

最先端技術の活用や新しいサービスを生み出すため、異業種・他分野の組織の枠を越えた活発な人材交流を促進することで、新たな産業、イノベーションの創出につとめます。さらに、新たなイノベーションを創出するためにも事業承継について支援します。

【主要な取組】

- 異業種間の人材交流の推進
- 事業承継への支援
- イノベーションの創出に向けたまちづくりの研究・検討

瑞穂町の主な関連計画

- 産業振興ビジョン
- 工業振興計画
- 都市計画マスタープラン

「重視すべき視点」からの配慮事項

1) 町の魅力を際立たせる

みずほブランドを有効に活用し、町の魅力を町内外に発信します。

2) 資源を磨き生活の質を豊かにする

町の産業力を高めるために、最先端技術の活用や新しいサービスを生み出し、あらゆる産業の価値を高めます。

3) つながる地域づくり

4) 危機に備える



製造業が盛んな瑞穂町

基本目標4

つながりと活力にあふれるまち

〈施策分野3〉 観光・イベント

現況と課題

瑞穂町の観光資源である自然豊かな狭山丘陵、水・緑と観光を繋ぐ回廊計画(「みずほ☆きらめき回廊」)の拠点である、さやま花多来里の郷、郷土資料館「けやき館」には、多くの観光客が訪れます。また、産業まつりをはじめ各種イベントでは、住民や団体同士の交流がはかられています。交流人口のさらなる増加による地域経済の活性化のため、人を惹きつける観光資源やイベントを充実させることが重要です。さらに、さまざまな情報発信ツールを使用し、より多くの人に町の魅力を伝え、来町したいと思う観光事業を展開していくことが重要です。

10年後のめざす姿

町内の自然や文化資源、観光資源、特産品などがそれぞれ魅力的で際立ち、住民や来町者が充実した時間を過ごすことができます。

■ 施策数値指標

指標名	現状値	令和7年度目標値	令和12年度目標値
観光情報サイト アクセス数	24,269件 (令和元年度)	37,760件	42,760件
さやま花多来里の郷入園客数(カタクリ 開花時期)	10,267人 (令和元年)	11,000人	12,000人

施策

1 地域資源の充実・活用

- ✔ **重点** 狭山丘陵について周辺自治体と連携し観光施策をすすめるとともに、「みずほ☆きらめき回廊」の推進をはかります。また、瑞穂町の風景や産業、歴史や文化なども含めた新しい地域資源の可能性について探求していきます。

【主要な取組】

- 自然豊かな観光資源を活かした観光事業の実施
- イベントの内容および運営方法の見直し
- 特産品や地域資源の新しい活用方法の検討

2 観光情報の発信・イベント情報の充実

- ✔ **重点** より多くの人々に観光・イベントの情報が行き渡るよう、観光ガイドブックやインターネット、SNS、マスコミなどの多様なメディアを活用した観光情報の発信につとめます。また、商工会や観光協会と連携し、住民との協働によるイベント開催を推進します。

【主要な取組】

- 観光・イベント情報のタイムリーな情報発信
- さまざまな情報発信ツールの活用
- 公式キャラクターの活用による発信力の強化

瑞穂町の主な関連計画

- 産業振興ビジョン

「重視すべき視点」からの配慮事項

1) 町の魅力を際立たせる

さまざまな情報ツールを使用し、観光資源を際立たせます。

2) 資源を磨き生活の質を豊かにする

町の観光資源を活かし、豊かな住民生活や新たな価値の創出につとめます。

3) つながる地域づくり

住民とのつながりによる事業を創出します。

4) 危機に備える



みずほ育ちのシクラメン(箱根ヶ崎駅での展示)



さくらまつり



狭山丘陵観光連携事業 SAYAMA HILLS RIDE



公式キャラクターワークショップ